



# ふるさと笠松の「ちょっといい話」134号



## 文化の高まりを感じます！

町民憲章の1つ、「いつも学習に励み 生活や文化を高めましょう」が実践されています。

### 笠松町美術展

「第47回笠松町美術展」が、平成29年11月3日(金)～5日(日)の3日間、笠松中央公民館で開催されました。約50年ほど前から行われている美術展ですが、出品点数が増え、10年ほど前から中央公民館内だけでは展示しきれないようになり、町民体育館の二階フロアーにも展示するようになりました。

今年度も、日本画、洋画、水墨画、版画、書、彫塑・工芸、写真といった7部門に、320人445点の出品があり、作品と参観者で会場を埋め尽くすことになりました。笠松町民の文化に対する関心の高さを感じました。

作品は、幅広い年代層からの出品があり、一つ一つの作品から、時間を有効に活用して、自らを高めようとする思いが伝わってきました。



開会セレモニー



展示の様子(中央公民館内)



展示の様子(町民体育館)

### 生涯学習発表会

平成29年11月19日(日)、笠松中央公民館で「生涯学習発表会」が開催されました。この「生涯学習発表会」は、今年度6月から開催された公民館講座で学習した成果を発表するものです。

笠松中央公民館、笠松町民体育館、松枝公民館、下羽栗会館、総合会館、スポーツ交流館の各会場で、フラワーアレンジメント、家庭料理、パソコン、太極拳など、これまでに好評だったものから現代の流れに沿ったものまで、全部で20以上の講座が開設され、多くの方が学びに参加しました。

どの講座も、「生涯学習発表会」を目標にして学習を進め、これまでに取り組んできた成果を展示したり、ステージ発表したりして披露しました。

こうした講座をきっかけにしてサークル等を立ち上げ、生涯にわたる学習へと進めていくことにより、ますます笠松町の文化が高まっていくと思います。



取材を終えて・・・人は、生涯にわたって学び続けることを通して、生き甲斐や生きる喜びを感じることができます。興味関心のあるものや長続きすると思われることを自ら選んだり探したりし、まずは取り組んでみることでと思います。